



# Introduction to “Matsui Seminar”

*2020*

## はじめに

- 最新情報はツイッター等で発信していく予定なので、ご確認ください。  
→(@matsuisemi\_2020)
- 松井先生のHPで選考についての正式な情報が公開される予定です。  
→([http://www.amatsui.e.u-tokyo.ac.jp/index\\_j.html](http://www.amatsui.e.u-tokyo.ac.jp/index_j.html))

# 今年のゼミ紹介用ビラです



## 松井先生について

専門分野は、ゲーム理論・貨幣論・社会的障害の経済理論。障害と経済の研究を行うREASEプロジェクトの代表を務め、世界的な学会、Econometric Societyのフェローでもあります。穏やかで学生想いで、ゼミ中には鋭い指摘とわかりやすい説明をしてくださいます。

### 時間

・水曜1,2限

### 内容

- ・輪読（グループに分かれて発表）
- ・ゼミ中は発言自由
- ・経済実験なども実施！

### 今年度扱った内容

Sセメ：社会選択理論  
（「決め方」の経済学）  
Aセメ：ゲーム理論の応用  
（特にインフォメーションデザイン）  
※毎期のテーマはゼミ生が決定

### イベント

4月：新歓コンパ  
9月：夏合宿（2泊3日）  
10月：フットサル大会  
12月：OBOG会  
3月：追い出しコンパ  
他にも多数

### 卒業生の進路

日本銀行/JR東海/東京大学経済学研究科/東京大学公共政策大学院/官庁など

### その他

- ・ダブルゼミ推奨
- ・3年生はゼミ論がゼミ継続に必須
- ・4年生は卒論が必須

不明な点・質問があれば、  
お気軽に連絡ください！

[matsuisemi.2019shinkan@gmail.com](mailto:matsuisemi.2019shinkan@gmail.com)  
(担当：島崎)

Twitter: @matsuisemi\_2020

# 松井ゼミとは？

- **ゲーム理論**・応用ミクロ経済学を学ぶ
- 時限:**水曜1,2限**(1限が本ゼミ、2限がサブゼミ)
- 形式:輪読(班ごとに担当を決めて発表)・ディスカッション
- 本ゼミではSセメスター・Aセメスターで大きく2つのテーマを扱う

先生にアドバイスを頂きながら、ゼミ生中心でテーマを決定します。

- 論理的思考力の養成を目的とする
- 論理記号を用いたりと数学的に厳密な論理を大切にします

## 昨年度の内容～本ゼミ～

- Sセメ本ゼミ:教科書 “Welfare Economics and Social Choice Theory” 『厚生経済学と社会選択理論』 (Allan M.Feldman & Roberto Serrano)

複数人の存在する社会において複数の候補の中からどれかを選ぶ場合に、どのような決め方・選び方にするのが望ましいのか？その過程でどんな問題が考えられるのか？といったことについて数学的に学びました。

- Aセメ本ゼミ:ゲーム理論の応用分野であるインフォメーションデザインを扱いました。(複数の論文を分担)

論文例: “Strategic Information Transmission” (Vincent P. Crawford and Joel Sobel)  
“ Bayesian Persuasion” (Emir Kamenica and Matthew Gentzkow)

## 昨年度の内容～サブゼミ～

- Sセメ：動的計画法(Dynamic Programming)の準備・基礎
- 経済学の理論を学ぶ上で必要な数学の基礎をゆっくりゼミ生みんなですんでいく感じでした。
- Aセメ:ゲーム理論。グレーヴァ香子の『非協力ゲーム理論』を使用
- 3年生のゼミ論発表、4年生の卒論発表がメインでした

## 今年度の内容(予定)

- Sセメ本ゼミはマッピング理論を扱う予定です。
- マッピング理論：モノやサービスの配分が価格で調整できない市場を考える
- 例)研修医と病院をどうマッチさせるのが適切か
  
- サブゼミはゲーム理論関連で考えています。
- 3年生も学びやすいようにしっかり配慮します。

# 経済実験

- ゼミの中で経済実験を2~3回ほどやります
- ゲーム理論に関係するような実験を行います。楽しいです！



# ゼミ合宿

- 夏休み中に2泊3日で合宿をします。
- 去年は経済実験、4年生の卒論構想発表、そしてフットサルの練習がメインでした。
- **松井ゼミはフットサルにも力を入れています！！**



## 松井ゼミ生の特徴

- 穏やかで友好的
- 知的好奇心が強い人が多い
- 趣味や特技は様々
- →有志で集まって勉強会を開くことが多いです！
- 仲が良い！！
- →ゼミが2限に終わるので、そのあとみんなでお昼ご飯を食べることが多いです
- 新4年生は12人(男子8人、女子4人) ←今年には女性ゼミ長です！



## 松井ゼミの特徴

- **どんな人にもオススメ**できるゼミ！  
先生「教科書はみんなが分かるレベルにして、やる気のある人はプラスアルファをやってください！」  
→**ゼミ生全員が理解することを大切に**
- [グループ+個人]  
5つほどの班に分かれます。  
発表者や先生から投げかけられた質問について班員で協力して答えます。  
発表は分からない部分に関しては班員と相談した上で、最終的には個人で行います。

## ポイント・注意点 (by 松井先生)

- 駒場4学期の成績も考慮
- 成績の良し悪しだけで判断しない
- 多様な学生に来てほしい！
- 向上心のある人に来てほしい！
- 勉強したくない人にはお勧めしない
  
- ダブゼミ推奨！！

# ダブゼミ推奨とは？

- 先生に伺ったところ、「いろんなことを学んで欲しいから」ということでした。
- 実際ダブゼミをしている人はかなり多いですが、強制ということは全くありません。(スライド作成者は松井ゼミのみです)
- 新4年生のダブゼミ先の例  
青木ゼミ、下津ゼミ、渡辺ゼミ、神取ゼミ、大橋ゼミ、佐藤ゼミなど

## 諸情報

- Sセメは**少人数講義**(2単位×2限)=4単位
- Aセメは**自主ゼミ**となり、**プロアクティブラーニングセミナーの2単位**
- ただし例年Aセメも1,2限とも先生は出席して下さることが多いようです
  
- 通年でSセメ 4 + Aセメ 2 =**6単位**
- 卒論は**必須**(テーマは**自由**)
- 3年の終わりにゼミ論を提出(卒論のプロポーザル程度のもので構わない)

## 注意

- 「少人数講義」なので「演習」のゼミと併願可能です！
- サブゼミの単位は1学期最大2単位、卒業までに通算4単位までしか認められません！
- 他のゼミでサブゼミに参加される場合は気をつけて登録してください。

\*2019年度のゼミ最終回の時点では特に大きな変更なしとのことでしたが、最新情報にご注意ください

## 選考について (注：昨年の例です)

- [提出書類]
- 大学においてこれまでに打ち込んできたこと、および今後の抱負を400字詰め原稿用紙3～5枚程度（レポート用紙の場合は同程度の字数）にまとめたもの→手書きである必要はなく、タイプで良かったです
- 駒場（教養学部）の成績表[専門科目Iの成績は添付できればすること。できなければこちらで確認する。]

[選考方法] 応募人数の多寡にかかわらず面接を行う。面接の日程は掲示板に張り出す  
[募集定員] 応募状況によるがここ数年は10～15名（原則として経済学部所属の3年生に限るが、それ以外の学生も特別な理由があれば考慮する。その場合の手続きは上記に準ずる。）

( \* 最近では1次募集で締め切ることが多いようです)